

令和2年5月23日
宗教法人 阿蘇神社

〈ご報告〉
【指定寄附金対象事業】 拝殿再建工事の進捗について

平素より当神社の災害復旧事業にご理解ご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

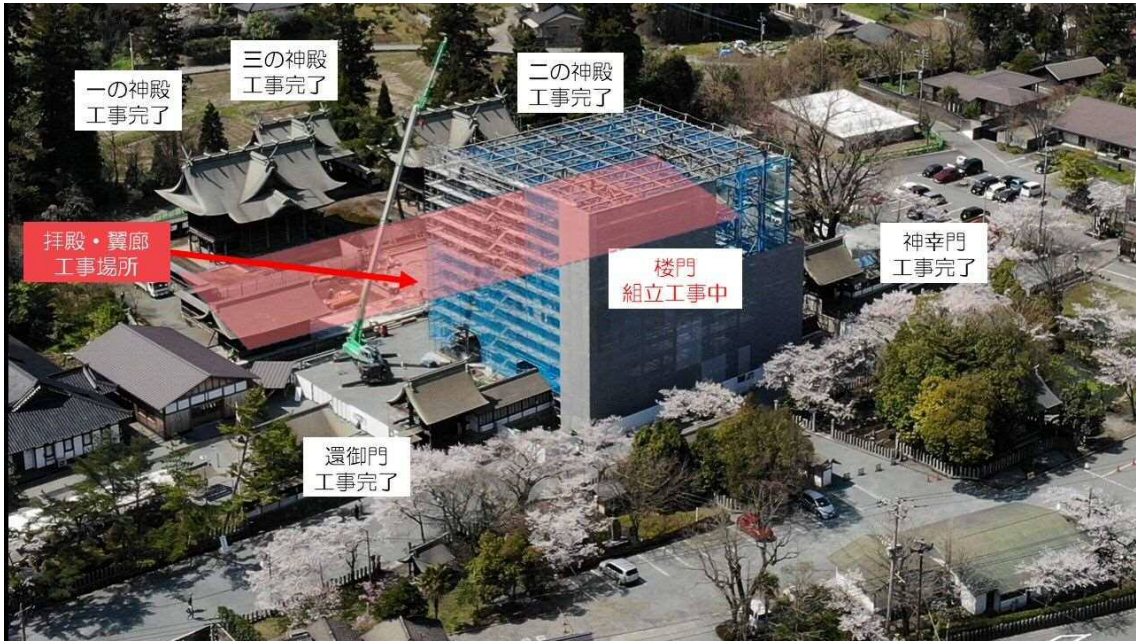
さて、熊本地震で倒壊した拝殿・翼廊を再建するため、指定寄附金を活用した災害復旧事業を実施していますが、このなかで県産材や地域材、また県立阿蘇中央高校様からご寄贈いただいた演習林、個人様からのご寄贈材を用材として整える作業を進めてまいりました。また本工事につきましては、昨年8月末に着手して以来基礎工事を進め、このたび建て方に入る運びとなりました。つきましては、これまでの経過を別添のとおり報告いたします。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されていますが、引き続き適切な予防対策のもとで工事を進めてまいります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

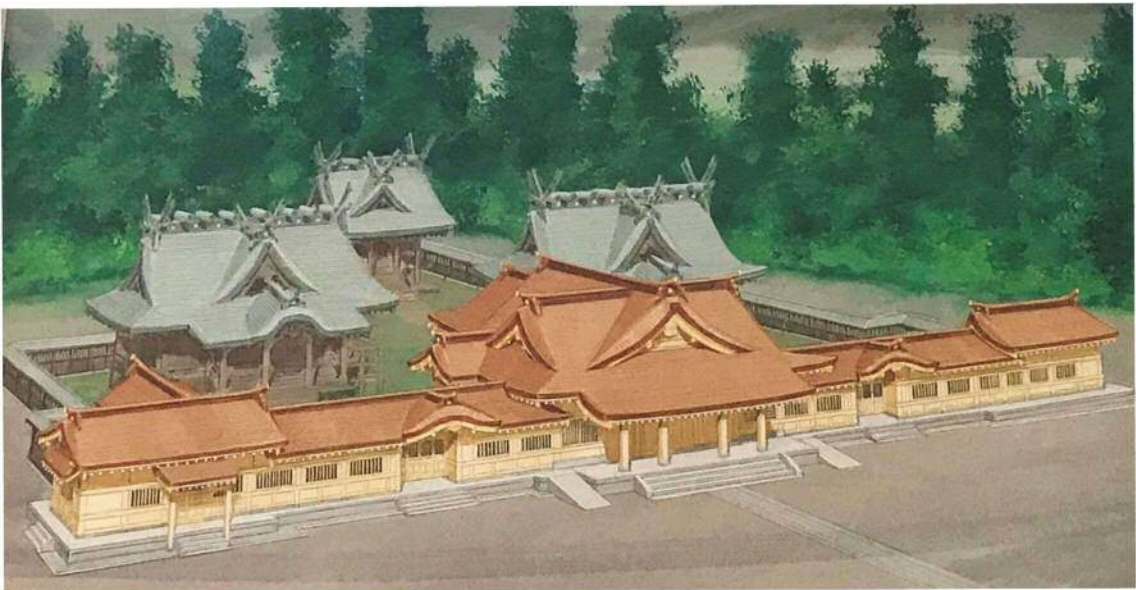
記

- 1, 工事名 拝殿及び翼廊復元工事（通称：拝殿再建工事）
- 2, 工事期間 令和3年6月まで（予定）※外構工事は別途実施予定
- 3, 事業費 7億200万円
うち指定寄附金から3億6000万円を充当します
- 4, 受注者
 - (1) 設計監理委託業務 (株)日本建築工芸設計事務所
 - (2) 請負工事 清水建設(株)九州支店
 - (3) 用材調達委託業務 阿蘇森林組合
- 5, 本報告の期間
 - 用材調達業務 令和元年 5月から令和2年3月まで
 - 請負工事 令和元年10月から令和2年3月まで

以上



拝殿再建工事場所



完成図

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告1】（令和元年5月）

本月は用材調達の経過について報告します



* 県産材置場(阿蘇森林組合 清和工場)
倉庫外観

熊本県上益城郡山都町にある阿蘇森林組合の倉庫です。7棟のうち1棟を借り上げ、拝殿工事で使用する御用材の保管庫としました。



* 県産材置場(阿蘇森林組合 清和工場)
倉庫内観

保管されている写真の部材は、化粧裏板(垂木と垂木の間の板)、また垂木を積み上げています。現状の含水率を測量した結果、化粧裏板は19%、垂木は21%、大きな部材は26%でした。倉庫内は乾燥に適していました。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告2の1】（令和元年6月）

本月は用材調達の経過について報告します



* 用材の含水率測定(阿蘇森林組合清和工場)
倉庫内観①

拝殿用の1尺1寸の柱と、翼廊用8寸の柱が搬入されました。



* 用材の含水率測定(阿蘇森林組合清和工場)
倉庫内観②

こちらは県立阿蘇中央高校の演習林から寄贈された柱材です。含水率を測定したところ26%でした。その他の柱材は19%、化粧垂木が26%とやや高めでしたが、現状では問題ないと判断しました。化粧裏板も19%と順調に乾燥していました。

含水率測定6月10日



* 用材の含水率測定(阿蘇森林組合清和工場)
倉庫内観③

拝殿用1尺1寸の柱、翼廊用8寸の柱です。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告2の2】（令和元年6月）

本月は用材調達の経過について報告します



*こちらは熊本市の熊本木材(株)に保管する熊本県産の用材です

倉庫内観①

含水率を測定したところ、大材の大斗が17～19%、桁が18～23%、頭貫が11%、予想以上に乾燥が進んでいました。

含水率測定6月10日



* 県産材含水率測定(場所:熊本木材)

倉庫内観②

【写真左上】No.439は唐破風の化粧裏板材が23%、【下段】No.32は拝殿桁が23%、【右上】No.383は翼廊桁が23%、【下段】No.40内拝殿桁が20%。予想以上に乾燥が進んでいました。

含水率測定6月10日



* 県産材含水率測定(場所:熊本木材)

倉庫内観③

【写真中央】No.32拝殿虹梁は23%、No.452翼廊桁は25%、乾燥は順調でした。

含水率測定6月10日

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告2の3】（令和元年6月）

本月は用材調達の経過について報告します



*こちらは熊本市の肥後木材(株)に保管している県立阿蘇中央高校から寄贈された用材です。再建する参道の鳥居柱に使用します。

①肥後木材保管の学校林(鳥居用)

柱(杉材)5本の皮をむいて、八角にして乾燥させています。長さ11m、太さ680mm(根本側)と申し分ない質量です。



②肥後木材保管の学校林(鳥居用)

鳥居の下部になる根元部分です。木肌の色違いは赤身です。地中に入る赤身部分は、腐れや割れに強くなります。

《含水率 根元部分 33%》



③肥後木材保管の学校林(鳥居用)

鳥居の上部になる末口部分です。製材後に確認したところ、腐れ、空洞もない良材でした。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告3】（令和元年8月）

本月は用材調達の経過について報告します



* 拝殿に使用する木材検査(第1回)を行いました(場所:熊本市 熊本木材)

桁(けた)に使用する用材です。木目も良く、とても綺麗な木材でした。



* 第1回木材検査(場所:熊本木材)

通肘木(とおしひじき)用です。乾燥しやすいように背割しています。



* 第1回木材検査(場所:熊本木材)

柱上の大斗(だいと)に使用する部材です。柱と同じ333mmの四角の大きさです。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告4の1】（令和元年9月）

本月は用材調達の経過について報告します



* 拝殿に使用する木材検査(第2回)を行いました(場所:熊本市 熊本木材)

丸柱(まるはしら)

乾燥しやすいように背割りしています。この時点で含水率が21%、順調に乾燥していました。



* 第2回木材検査(場所:熊本木材)

丸柱(まるはしら)阿蘇中央高校からの寄贈材

本部分に腐れがありましたが、必要寸法を確保できそうです。



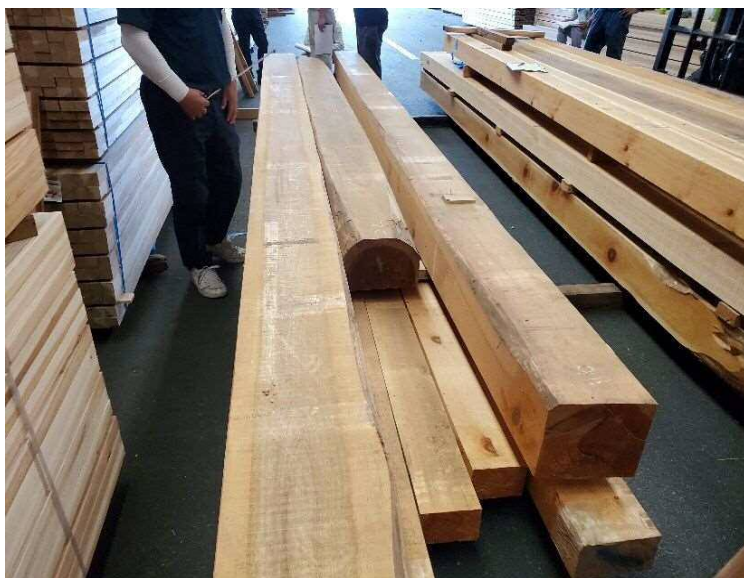
* 第2回木材検査(場所:熊本木材)

丸柱(まるはしら)阿蘇中央高校からの寄贈材

腐れ部分は切り落とし、残りは丸柱に使用するにしました。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告4の2】（令和元年9月）

本月は用材調達の経過について報告します



* 第2回木材検査(場所:熊本木材)

長押(なげし)

長い部材のため、乾燥による反りを想定し、寸法を大きめに取っています。加工に入る直前に改めて検査することになりました。



* 第2回木材検査(場所:熊本木材)

上框(あがりがまち)

径寸法は大きく、十分な長さが必要な部材でしたが、とても良い木材を用意いただきました。含水率は25%で、しばらく乾燥が必要です。



* 第2回木材検査(場所:熊本木材)

丸柱(まるはしら)

背割りしています。乾燥が進み、含水率は20%でした。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告5の1】（令和元年10月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します



* 拝殿跡地、北翼廊の解体

いよいよ工事が始まりました。倒壊した拝殿は再建されますが、かろうじて倒壊を免れた北側の翼廊は解体修理します。

屋根の銅板を剥がし、その下地材、小屋材を解体しています。



* 北翼廊の解体

解体修理のなかで、貴重な化粧木材は再利用します。



* 北翼廊の解体

虹梁(こうりょう)

立派な彫刻が施されています。ひび割れがありますが、再利用の対象材です。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告5の2】（令和元年10月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します



* 拝殿に使用する木材検査(第3回)を行いました(場所:熊本木材)

拝殿の正面に位置する向拝柱です。

角柱4本を検査した結果、2本は白太(白身)が入っているため、取り替えることにしました。



* 第3回木材検査(場所:熊本木材)

設計の現寸図に合わせて加工する用材です。

宮大工が直接加工するので、製材せずに大工側に引き渡します。



* 第3回木材検査(場所:熊本木材)

正面の御扉(みとびら)

拝殿正面の御扉になる用材です。寄贈された貴重な南郷桧を使用します。栈木を挟み乾燥させています。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告5の3】（令和元年10月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します

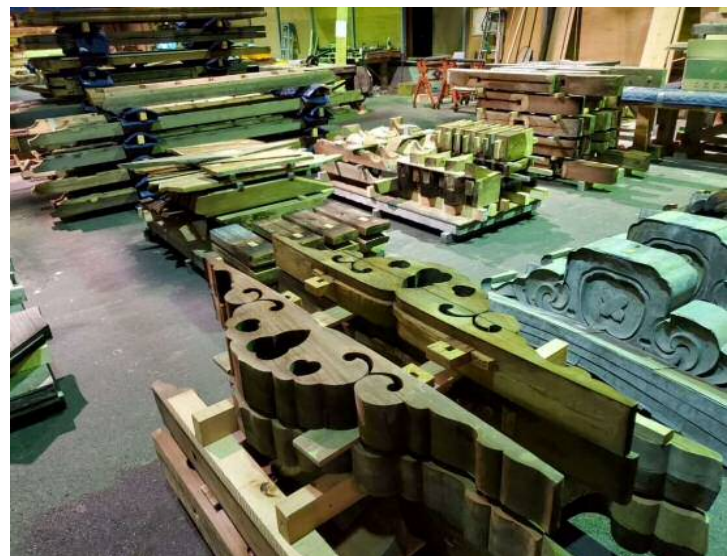


* 第1回の現寸検査（建物の実寸図を用いた設計者と工事請負者の打ち合わせ）を福井県の藤田社寺建設で行いました。

拝殿屋根（入母屋）の垂木の反り、先端の形状について協議しています。



* 第1回現寸検査（場所：藤田社寺建設）
拝殿屋根（入母屋）の地反りを少し調整することになりました。



* 第1回現寸検査（場所：藤田社寺建設）
解体した南・北翼廊の部材

解体した翼廊の部材は、一旦、福井県の藤田社寺建設に持ち込まれ、そこで補修します。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告6の1】（令和元年11月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します

	<p>* 拝殿建設の現場</p> <p>仮設道路の設置</p> <p>重文楼門の組立工事との干渉を避けるため、新たに仮設の搬入道路を設置しました。奥に見えるのは現場事務所です。</p>
	<p>* 翼廊の建設地</p> <p>地面を掘削し、建物基礎の型枠を一部に設置しました。</p>
	<p>* 拝殿の建設地</p> <p>拝殿、翼廊、儀式殿建設地の地盤を掘削しています。右は重要文化財の一の神殿です。</p>

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告6の2】（令和元年11月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します



* 拝殿に使用する木材検査(第5回)の様子です(場所:熊本木材)

桁(けた)に使用する用材です。



* 県産材第5回木材検査(場所:熊本木材)
桁(けた)

寸法、節、割れ、腐れ等をチェックし、問題なければ合格印を押します。



* 県産材第5回木材検査(場所:熊本木材)
地貫(じめぎ)の検査

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告6の3】（令和元年11月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します



* 県産材第5回木材検査(場所:熊本木材)

大梁(おおばり)、桔木(はねぎ)
屋根の構造材となる松の良材です。



* 県産材第5回木材検査(場所:熊本木材)

検査に合格した桔木(はねぎ)



* 県産材第5回木材検査(場所:熊本木材)

検査済の大梁(おおばり)、桔木(はねぎ)

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告7の1】（令和元年12月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します



拝殿の基礎工事をしています。

* 南翼廊の様子

耐震対策の基礎を設置します。



* 拝殿

拝殿の基礎レベルコンクリート部分です。



* 儀式殿基礎に配筋した様子です。

12月23日、地中梁の配筋検査を実施しました。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告7の2】（令和元年12月）

本月は用材調達と工事の経過について報告します



* 第6回木材検査(場所:熊本木材)

柱材

取り替えになった用材を再度検査しました。



* 第6回木材検査(場所:熊本木材)

大斗、地貫、桁

再検査の様子です。



* 第6回木材検査(場所:熊本木材)

土居桁、桔木

屋根の構造材(松材)です。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告8の1】（令和2年1月）

本月は工事の経過について報告します



* 北翼廊の基礎

コンクリートの養生を終えたので、型枠を外したところでは。



* 拝殿の基礎

幣殿下の地中梁を設置しています。

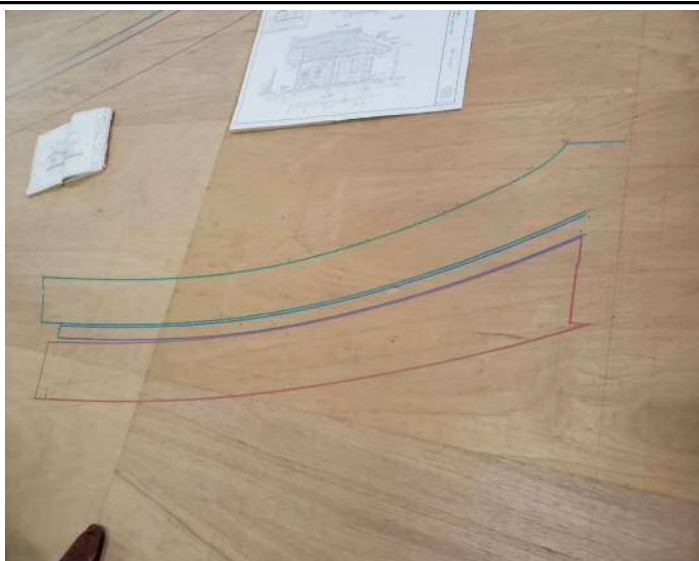


* 拝殿の基礎

耐震対策の地中梁を検査しました。

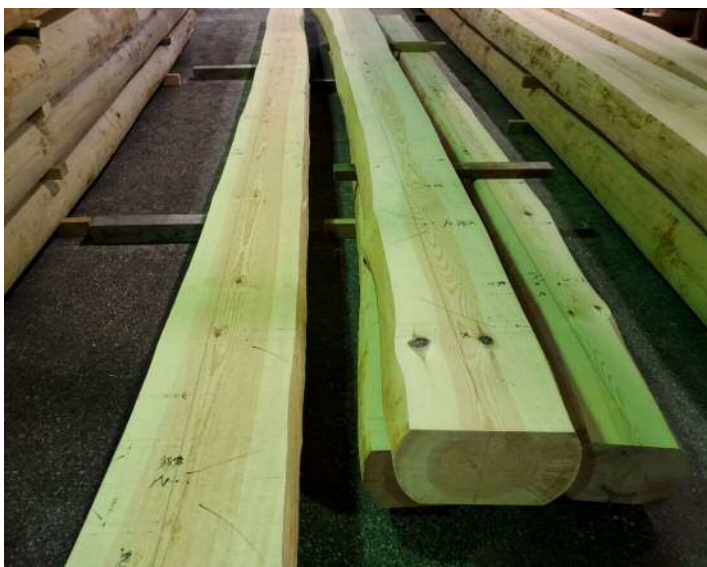
阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告8の2】（令和2年1月）

本月は工事の経過について報告します



* 第3回現寸検査(場所:福井県藤田社寺建設)

儀式殿 神座(片流れ)の部分
屋根軒付の反りと銅板の納まりについて打合せ
しました。



* 第3回現寸検査(場所:藤田社寺建設)

木材に墨付けしています。この後、加工に入ります。



* 第3回現寸検査(場所:藤田社寺建設)

基礎と連結する拝殿柱部分の試作品を作り、仕
上がりを確認しました。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告9の1】（令和2年2月）

本月は用材調達の経過について報告します



* 第8回木材検査(場所:熊本木材)

弁備・祭具所・破風

実寸の型を木材にあて確認しているところです。



* 第8回木材検査(場所:熊本木材)

化粧材の一部に使用する米ヒバ材を検査しました。



* 第8回木材検査(場所:熊本木材)

拝殿 入母屋破風

実寸の型を木材にあてて確認している様子です。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告9の2】（令和2年2月）

本月は用材調達の経過について報告します



* 第8回木材検査(場所:熊本木材)

桧材

背割りする方向を指示し、寸法不足、節、割れがないことを確認しました。



* 第8回木材検査(場所:熊本木材)

桧材



* 第8回木材検査(熊本木材)

丸桁、妻梁、化粧棟木(桧材)

節、割れ、腐れはありませんでした。

阿蘇神社 拝殿及び翼廊復元工事【報告10】（令和2年3月）

本月は工事の経過について報告します



拝殿基礎工事の様子

* 南翼廊 儀式殿側

土間のコンクリート打設が完了しました。



* 南翼廊側より



* 儀式殿土間